

吃音のある人への支援を考える

例年になく豪雨が続き、被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、例年実施しております「ことばのための発達心理学研修会」のご案内をいたします。最近、吃音を主訴に専門機関を訪れる幼児・学童・成人が増加しています。そんな中で相談にどう対応すべきか悩んでおられる方も多いのではないかと思います。



今回は長年吃音臨床に携わってこられたお二人の先生をお迎えし、吃音臨床の実践力をつけるとともに、京都府内の吃音臨床ネットワーク構築の一助となるべく研修会を企画いたしました。お忙しい時期とは存じますが、多くの方の参加をお待ち申し上げます。

講師 脇 豊明 先生

(京都言語障害研究会会長 京都光華女子大学非常勤講師 元小学校通級指導教室担当)

松尾 友久 先生 (京都市児童福祉センターうさぎ園 言語聴覚士)

～吃音の好発年齢は2歳から5歳ですが、幼児期には自然治癒も含めてその様相は大きく変動します。この時期に適切な支援をすることは問題の深刻化を予防することになります。学齢期になると自然治癒するケースは少なくなり、心理的な問題も併行して自己肯定感に影響を与えるようになります。中学生以降の成人期では学業や就労における問題も加わり問題は複雑化します。今回は幼児期を松尾先生に、学齢期以降を脇先生に担当していただき、発達段階に応じた適切な支援のあり方を考える機会にしたいと思います。

日時 平成 30 年 10 月 28 日(日) 13:30～16:30(受付 13:00～)

場所 京都医健専門学校 第 2 校舎(西の校舎) 2 階

京都市中京区室町三条西入(京都市地下鉄「烏丸御池」から西へ徒歩 3 分)

会費 京都府言語聴覚士会会員 2,000 円 非会員 3,000 円 学生 1,000 円

申し込み 10 月 8 日(祝・月)締め切り



- ①氏名 ②所属 ③職種 ④連絡先(住所・Tel・E-mail) ⑤会員・非会員・学生の別
⑥別紙の小児部会(当日午前中開催)の出欠 をご記入の上、下記あてにメールをご送信ください

京都府言語聴覚士会 小児研修部 板東 E-mail kst_syoni@yahoo.co.jp